



東日本大震災復興支援

第11回 寛仁親王記念ワールドグランプリ国際自転車競技大会ロードレースラウンド

2023年度 全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ最終戦

第18回 明治神宮外苑大学クリテリウム

18th MEIJI-JINGU OUTER GARDEN UNIVERSITY CRITERIUM

明治神宮外苑 聖徳記念絵画館前 10:50開始15:00表彰式

2024年3月10日(日)

明治神宮外苑・聖徳記念絵画館前

外苑

CRITERIUM

CYCLE ROAD RACE

主催 日本学生自転車競技連盟

JAPAN INTERCOLLEGIATE CYCLING FEDERATION



ウェブサイト

寛仁メモリアル大会特設

<https://princetomohito-memorial-wgp.com/>

競技結果 <https://jicf.info/>

インターネットライブ動画

<https://www.youtube.com/@jicf7330>



外苑クリテ過去大会アーカイブ

<https://gaiencriterium.tokyo/>



Innovation & Action



NICHINAO

PEARL izumi

Kabuto

ユニバーサル・フィナンシャル
UNIVERSAL
FINANCIAL

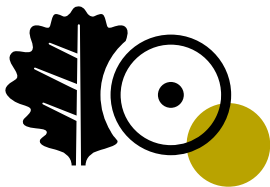
セカイの、 ミライの、 イノアック。

セイノさん

イノアックはウレタン、ゴム、
プラスチック、複合材の高分子素材メーカー。
ものづくりの素をつくる仕事で世界の、
そして未来のものづくりを支えているよ。

イノアックくん





PRINCE TOMOHITO MEMORIAL WORLD GRAND PRIX



「寛仁親王記念ワールドグランプリ」の開催にあたって

大会顧問 小山田 齊

寛仁親王殿下の活動の中心、4本の柱は、「障害者福祉」「スポーツ振興」「青少年育成」「国際親善」でした。殿下の「障害者福祉活動」のスタートは1970年代初め、障害者が自立をめざして本格的な運動を始めた時期でもあります。東京「身障友の会」活動に端を発した障害者の自立運動は「愛知県重度障害者の生活をよくする会」そして「仙台ありのまま舎」などにも広がり活発化しました。この、ユニークな福祉活動を行う「身障友の会」との出会いがきっかけで殿下の「身障友の会応援団」が誕生します。寛仁親王殿下は以後様々な障害者福祉活動にお取り組みになりますが、障害者スポーツの先駆けとなる「障害者スキーの普及」もそのひとつでした。殿下が制作なされた障害者スキードキュメント映画「JOY TOGETHER」は世界の注目を集め1978年「第1回国際赤十字映画祭グランプリ」をはじめ国内外の賞を受賞しています。「スポーツ振興」活動としては1990年、名誉総裁をつとめられた「世界選手権自転車競技日本大会」以降「自転車競技振興」にも大きな指導力を発揮されてきました。

「寛仁親王殿下」プロフィール

寛仁親王（ともしんのう）

1946年神奈川県生まれ。三笠宮崇仁親王の第一男子。1968年学習院大学卒業後、オックスフォード大学へ留学。活動の中心は障害者福祉・スポーツ振興・青少年育成・国際親善の4本柱。スポーツマンとしても知られ、日本職業スキー教師協会総裁として障害者スキー指導では先駆者的存在。皇族らしからぬ飾らぬお人柄は庶民的な人気を得「ヒゲの殿下」の愛称で親しまれた。1990年世界選手権自転車競技日本大会で名誉総裁、以降自転車競技選手強化システムの構築などに主導的な力を発揮。1991年、下部食道癌の切除手術を受けて以降も様々な活動を精力的にお続けになる。1995年、自ら総裁を務める、仙台ありのまま舎の常務理事で筋ジストロフィー患者・山田富也、一級障害者手帳を持つ作家澤地久枝と共著で「いのちの時間」を出版。1991年以降、16回の手術という想像を絶する困難のなか信念とする活動を精力的に続け、2012年6月6日薨去。著書に「皇族のひとりごと」「思いでの昭和天皇」「今ペールを脱ぐジェントルマンの極意」など。

「寛仁親王殿下と自転車競技」

寛仁親王殿下は「障害者福祉」「スポーツ振興」「青少年育成」「国際親善」の4本の柱を活動の中心据えてこられました。「ヒゲの殿下」の皇族らしからぬ、庶民的で飾らぬ言動は皇室をかたて無に程に「開かれた存在」にしました。様々なスポーツと親しむなか、特にスキーに関しては日本職業スキー教師協会総裁をつとめ、障害者のスキー指導に於いては先駆者的な存在で知られます。自転車競技に関しては「1990世界選手権自転車競技大会」名誉総裁をつとめて以来「選手強化／底辺拡大」に関する事業等で大きな指導力を発揮なさいました。なかでも自らの名を下賜なされた「寛仁親王世界選手権記念トーナメント」（1992年～）では「世界のスポーツ、ケイリン！」をキャッチフレーズに競輪の国際化に尽力、2000年シドニーからのオリンピック競技「KEIRIN」誕生にお力添えをなさいました。

*大会名「寛仁親王記念ワールドグランプリ」は、三笠宮彬子女王殿下の御承諾を戴いた名称です

寛仁親王記念ワールドグランプリ自転車競技大会の開催経緯

- 1990年**（平成2年）
寛仁親王殿下名誉総裁のもと前橋・宇都宮で世界選手権自転車競技日本大会（トラック・ロード）開催
- 1992年～**（平成4年～）
「寛仁親王世界選手権記念トーナメント」開催。KEIRINの国際化・オリンピック種目採用に尽力される
- 2000年**（平成12年）
シドニー五輪でケイリンが正式種目、殿下主導の2012年を目指すオリンピック攻略プロジェクト始動
- 2009年**（平成21年）
世界選手権開催20周年を記念した「寛仁親王ワールドグランプリ」が企画される（未実施）
- 2012年**（平成24年）6月6日
寛仁親王殿下ご逝去
- 2014年**（平成26年）7月4～7日 於：伊豆ベロドローム
第1回寛仁親王記念ワールドグランプリ自転車競技大会開催
第55回全日本学生選手権自転車競技大会トラックと併催、UCI国際トラックカレンダーにクラス3大会として登録。日本国内初のUCIパラサイクリング・カレンダー登録大会（パラサイクリング・クラス2）となる。
主催：NPO法人CSSシクロ 競技主管：日本学生自転車競技連盟
後援：公益財団法人日本自転車競技連盟
- 2016年**（平成28年）2月6～7日 於：伊豆ベロドローム
第2回寛仁親王記念ワールドグランプリ自転車競技大会開催
全日本学生トラックレースシリーズ最終戦と併催、UCI国際トラックカレンダーにクラス2大会として登録。主催：競技主管：日本学生自転車競技連盟
- 2016年**（平成28年）7月8～10日 於：伊豆ベロドローム
第3回寛仁親王記念ワールドグランプリ自転車競技大会開催
主催：競技主管：公益財団法人日本自転車競技連盟
- 2017年**（平成29年）7月7～9日 於：伊豆ベロドローム
第4回寛仁親王記念ワールドグランプリ自転車競技大会開催
主催：競技主管：公益財団法人日本自転車競技連盟
- 2018年**（平成30年）7月6～8日 於：伊豆ベロドローム
第5回寛仁親王記念ワールドグランプリ自転車競技大会開催
主催：競技主管：公益財団法人日本自転車競技連盟
- 2019年**（令和元年）7月13～14日 於：松本美鈴湖自転車競技場
第6回寛仁親王記念ワールドグランプリ自転車競技大会開催
第3回全日本学生選手権オムニウム大会と併催/UCIクラス2トラック国際大会
主催：競技主管：日本学生自転車競技連盟
後援：公益財団法人日本自転車競技連盟
- 2020年**（令和2年）2月23日 於：明治神宮外苑
第7回寛仁親王記念ワールドグランプリ・ロードレースラウンド開催
第14回明治神宮外苑大学クリテリウムと併催
主催：競技主管：日本学生自転車競技連盟
後援：公益財団法人日本自転車競技連盟
- 2021年**（令和3年）3月7日 於：明治神宮外苑
第8回寛仁親王記念ワールドグランプリ・ロードレースラウンド開催
第15回明治神宮外苑大学クリテリウム兼第22回全日本学生選手権クリテリウム大会と併催
主催：競技主管：日本学生自転車競技連盟
後援：公益財団法人日本自転車競技連盟
- 2021年**（令和3年）7月3～4日 於：松本美鈴湖自転車競技場
第8回寛仁親王記念ワールドグランプリ・トラックレースラウンド開催
The 7th JICF International Track Cup 2021 兼 第5回全日本学生選手権オムニウム大会と併催
主催：競技主管：日本学生自転車競技連盟
後援：公益財団法人日本自転車競技連盟
- 2022年**（令和4年）2月27日 於：明治神宮外苑
第9回寛仁親王記念ワールドグランプリ・ロードレースラウンド開催
第16回明治神宮外苑大学クリテリウムと併催
主催：競技主管：日本学生自転車競技連盟
後援：公益財団法人日本自転車競技連盟
- 2022年**（令和4年）8月6～7日 於：TIPSTAR DOME CHIBA
第9回寛仁親王記念ワールドグランプリ・トラックレースラウンド開催
The 8th JICF International Track Cup 2022 兼 第6回全日本学生選手権オムニウム大会と併催
主催：競技主管：日本学生自転車競技連盟
後援：公益財団法人日本自転車競技連盟
- 2023年**（令和5年）2月26日 於：明治神宮外苑
第10回寛仁親王記念ワールドグランプリ・ロードレースラウンド開催
第17回明治神宮外苑大学クリテリウムと併催
主催：競技主管：日本学生自転車競技連盟
後援：公益財団法人日本自転車競技連盟
- 2023年**（令和5年）11月25～26日 於：TIPSTAR DOME CHIBA
第10回寛仁親王記念ワールドグランプリ・トラックレースラウンド開催
The 9th JICF International Track Cup 2023 兼 第7回全日本学生選手権オムニウム大会と併催
主催：競技主管：日本学生自転車競技連盟
後援：公益財団法人日本自転車競技連盟

第18回明治神宮外苑大学クリテリウムに寄せて

Compliment to Meiji-Jingu Outer Garden University Criterium

大会会長・日本学生自転車競技連盟会長

村 岡 功

President of the Japan Intercollegiate Cycling Federation
Isao MURAOKA



本日、ここに第18回 明治神宮外苑大学クリテリウムを開催できますことに感謝申し上げます。

さて、2024年は震災・航空機事故といった、重く、悲しみを伴った出来事とともに迎えることになりました。当連盟としても、2022年のインカレロードレース、2023年のツールド北海道における事故により2名の本連盟登録選手を失うという重大事故を経て、今後どのようにリスクを低減して大会を実施し、参加して戴くかということに腐心しているところです。前回大会の際にも申し上げたところですが、リスクを下げ安全性を高める方策として、「これだけを行っていれば大丈夫」というような特効薬はないと思われまふ。競技に関わる全ての皆様がそれぞれの立場で安全に対する意識と知識を高め、原則に立ち返って肅々となすべきことを確実に実施していくことが重要であると考えています。

今回は安全対策として、グループ3の規模縮小とマスターズ・クリテリウムの開催を見送り大会を実施します。また、諸般の事情により海外チームの招聘を今年も見送ることとさせて戴きました。このことによりレース参加機会を失ってしまうという方も居られますが、競技の総体的な安全性向上のためとご理解戴ければと存じます。皆様のご協力のもとようやくここに至ったことに感謝を申し上げますとともに、今後は、従来のようにオーストラリアやオランダの学生との交流機会が復活することに期待しております。

第18回大会の開催に際し、多大なるご尽力・ご助力を賜りました明治神宮外苑、東京都、新宿区、四谷警察署、四谷消防署、東京都自転車競技連盟、日本自転車競技連盟、日本サイクリング協会をはじめとする多くの諸団体、競技役員や警備・設営・運営関係者の皆様、また本大会にご賛同戴き多大なるご支援を賜りました協賛各社の皆様に対して、重ねて深甚なる感謝の意を表し、ご挨拶とさせて戴きます。

時 程 表 / TIME TABLE

3月7日(木) 20:00 21:00	チーム代表者・供出立哨役員チーム責任者打合 設営・競技役員打合	7th Mar (Thu) Team manager & Marshalls meeting Commissaires meeting
3月9日(土) 15:00-17:00	第14回 大学自転車競技フォーラム東京 「自転車競技を通じた共生社会 ー2025 東京デフリンピックに向けてー」 於：国立オリンピック記念青少年総合センター リモート参加可	9th Mar (Sat) University Cycling Forum Tokyo #14
3月10日(日) 6:00 7:30 9:00 9:00-11:30 10:00 10:50 11:10 11:40 12:00 13:00 13:25 13:50 14:10 15:00 17:00	会場設営開始 競技役員・立哨役員集合打合わせ 交通規制開始 参加選手受付・ゼッケン配布 メディアミーティング オープン&ウォームアップ・ライド 1.5km × 5 laps = 7.5km 男子大学生 グループ3 A組 男子大学生 グループ3 B組 1.5km × 4 laps = 6km タイムトライアル(小・中学生、マスターズ、パラサイクリング) 1.5km × 1 lap = 1.5km 開会式・表彰式(午前の部) / 絵画館前 立哨役員昼食(コース閉鎖) 男子大学生 グループ2 A組 男子大学生 グループ2 B組 1.5km × 8 laps = 12km 女子(学連登録選手+JCF登録競技者) 1.5km × 5 laps = 7.5km 男子大学生 グループ1 (大学対抗) 1.5km × 20 laps = 30km 表彰式・閉会式(午後の部、大学対抗・シリーズ総合) 規制解除 (予定:早まる場合があります)	10th Mar (Sun) Course installation Commissaires & Marshalls meeting Public traffic control Start Body Number distribution Media meeting Open & Warm-up Ride Students Men Group-3A Students Men Group-3B Time Trial (Kids, Master's, Paracycling) Opening & Awards Ceremony Lunch Break / circuit close Students Men Group-2A Students Men Group-2B Women (JICF + JCF) Students Men Group-1 (University Team Match) Awards & Closing Ceremony End of Public traffic control

式 次 第 / CEREMONY PROTOCOL

開 会 式	12時00分より 絵画館前にて (一部の役員・選手のみ整列します。場内アナウンスをお聞きください)
開会宣言 主催者挨拶 RCS門田杯返還 選手宣誓	大和田龍之慎 日本学生自転車競技連盟 新学生委員長 村 岡 功 日本学生自転車競技連盟 会長 中 島 渉 前年度 RCS 総合リーダー / 立教大学 玉 城 翔太 前年度大学対抗最上位校 / 日本体育大学代表
表 彰 式 (午前の部)	開会式に引き続いて 絵画館前にて (表彰対象の選手のみお集まり下さい。場内アナウンスをお聞きください)
表 彰	男子大学生グループ3A, 3B 小・中学生タイムトライアル マスターズ・タイムトライアル
表 彰 式 (午後の部)・閉 会 式	15時00分より 絵画館前にて (表彰対象の選手のみお集まり下さい。場内アナウンスをお聞きください)
表 彰	男子大学生グループ2A, 2B 女子クリテリウム 男子大学生グループ1 (大学対抗) 大学対抗チーム優勝杯贈呈 全日本学生ロードレースカップシリーズ総合表彰
歓送のことば 閉会宣言	井 関 康 正 日本学生自転車競技連盟 副会長 古 賀 岳 文 日本学生自転車競技連盟 理事長

競技運営組織 / ORGANIZATION STRUCTURE & COMMISSAIRES

大会代表

大会会長	村岡 功	日本学生自転車競技連盟会長
大会副会長	井関 康正	日本学生自転車競技連盟副会長

大会実行委員会

競技運営委員長	古賀 岳文	日本学生自転車競技連盟理事長
レース・コーディネーター	松倉 信裕	日本学生自転車競技連盟副会長
セーフティ・マネージャー	武田 彰	日本学生自転車競技連盟専務理事
		日本学生自転車競技連盟医事・安全委員会委員長
		日本学生自転車競技連盟理事

総務委員長・総務統括	三浦 拓郎	
総務スタッフ	瀧 勝弥	
レセプション統括	中川 敏彦	日本学生自転車競技連盟常務理事
設営・立哨統括	森川 和之	日本学生自転車競技連盟理事
立哨・テント管理担当	長谷川 哲也	日本学生自転車競技連盟理事
S/F 地点設営担当	古田 雅拓	
WEB配信・映像統括	十時 隆櫻	
配信・映像スタッフ	岸本 直樹	伊藤 幸菜
	佐藤 大和	町田 颯

アドバイザー	大脇 恒夫	日本学生自転車競技連盟理事
運営スタッフ (本部)	大和田 龍之慎	小畑 海碧
	日本学生自転車競技連盟学生委員会委員	

競技運営

チーフ・コミッセール	荒井 純一	日本学生自転車競技連盟常務理事	
フィニッシュ・ジャッジ	倉田 達樹	日本学生自転車競技連盟常務理事	
モト・コミッセール	大島 環	池内 直人	西沢 倭義
	石田 正樹	玉木 伸雄	岩山 学
セクレタリー	大脇 恒夫	日本学生自転車競技連盟理事	
通告・音響・解説	芦田 千里 (MC)	高島 陽介 (PA)	寺部 和貴 (PA)
	栗村 修		
アシスタント・コミッセール		日本学生自転車競技連盟審判部会	
		東京都自転車競技連盟 ほか	

中川 敏彦	武田 彰	森川 和之	長谷川 哲也
古川 利勝	十時 隆櫻	岸本 直樹	古田 雅拓
内田 泰孝	白石 規哲	金子 博文	深井 文浩
布目 一也	横野 明子	岩田 全弘	長坂 堅太郎
倉橋 弥佳子	津島 智泰	川村 隆	秋郷 伸一
鈴木 克典	藤井 由紀子	服部 伸一朗	影森 真由子
若生 宏	小林 文弥	中桐 確	松隈 廉
山根 拓斗	後藤 奈々子	田中 遥香	(順不同)

救 護

大会公式ドクター	金子 稔	安間 久芳
看護師	鈴木 なつみ	橋口 優子

アンチ・ドーピング検査

NF Rep	笠師 久美子 (日本自転車競技連盟アンチドーピング部会 NF代表)
シャペロン	高橋 錦司 岡崎 亜里沙

コース・マーシャル (立哨役員)

日本学生自転車競技連盟審判部会
日本学生自転車競技連盟加盟校 OB・OG・学生

五月女 朝生	高田 颯天	東川 蓉	古田 陸志
阿部 花梨	重田 恵杜	山口 颯斗	立神 麻結
内藤 丈路	田中 杏奈	池田 倫之	谷井 壮太
小林 大悟	西村 行生	岩間 健太	平田 碧海
佐藤 岳	栗原 拓海	西田 七菜	大槻 駿介
釜田 佳典	熊谷 海飛	犬伏 輝斗	中根 大宝
下平 一貴	大林 哲士	有川 慧	久我 真由美
松岡 隼人	井上 凌玖	松本 晃太	鳥屋部 航平
大井川 良生	小笠原 光	山本 蒼良	石井 蓮
郡司 夕磯	船橋 星来	堀北 大和	井上 功志
鈴木 来音	吉田 大悟	宮川 耕太郎	濱 彩春
西野 菜々子	風間 大和	上戸 伸之輔	菅野 英由子
米良 葵	林原 聖真	中川 挺太	江口 宗一郎
千葉 勇真	加藤 琥珀	本条 悠太郎	小暮 啓介
石田 真大	柴山 航一郎	西沢 潤	平山 昂輝
天野 颯太	河岡 大樹	清水 敦希	片野 樹
島 比加瑠	小嶋 海音	小川 純平	井上 開斗
大野 風貴芽	松平 暖希	米田 千紘	菅野 愛華

赤羽 秀虎	椿井 和佳奈	李 瑞 資	福田 大輔
大岩 広輝	藤田 結	天野 裕稀	楠 雅皓
佐幸 美桜	山下 真依	井出 晃太郎	本 田 音輝

杉江田健人ガブリエル

会場設営・警備
協力

株式会社シミズオクト

東京都自転車競技連盟

Kデザイン・カンパニー

後 援

明治神宮外苑 新宿区

公益財団法人日本自転車競技連盟

公益財団法人日本サイクリング協会

(順不同)

協 賛

井上ゴム工業株式会社

株式会社イノアックコーポレーション

株式会社日直商会

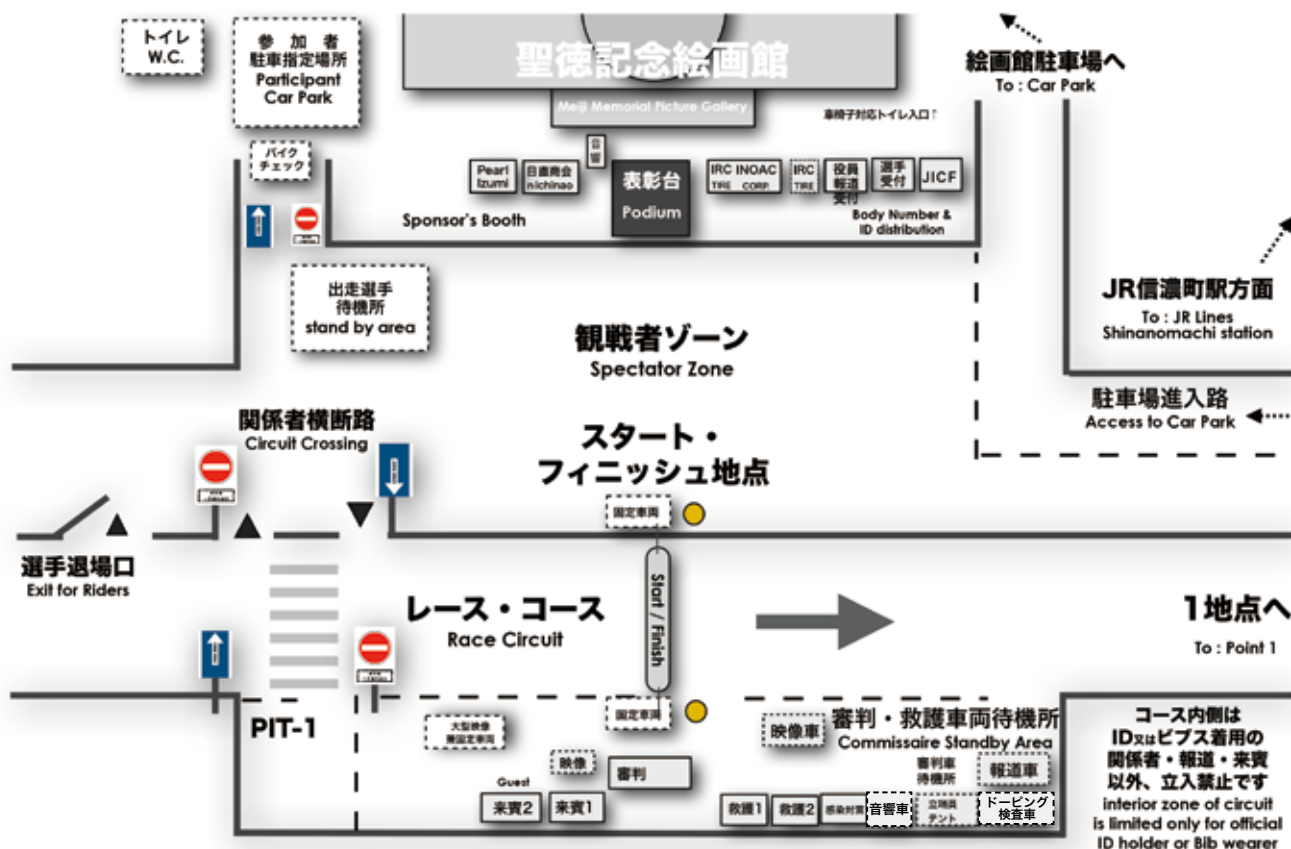
株式会社パールイズミ

株式会社オージーケーカブト

株式会社ユニバーサル・フィナンシャル

(順不同)

スタート・フィニッシュ地点周辺詳細図 / START & FINISH AREA MAP



来場者の皆様へ

- ◎レースは、コース外側からご観戦ください。
- ◎コース内側は関係者以外立ち入り禁止とさせていただきます。
- ◎コース内側の運動施設をご利用の方は、係員にお申し付けください。コース横断のご案内をいたします。
- ◎なにかとご不便・ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

Dear Spectators,

- ◎ Please watch from outside the fenced area, and stay within the Spectator Zone.
- ◎ Please do not enter the Race Circuit at all times.
- ◎ Please make sure to contact your nearest staff when crossing Circuit Crossing.
- ◎ We apologize in advance for any inconvenience, and thank you for your kind understanding and cooperation.

大会本部: Race Office at S/F

聖徳記念絵画館正面

スタート・フィニッシュ地点付近テント

開設時間 Hours 08:00-16:00

電話 Tel. 090-2207-2369

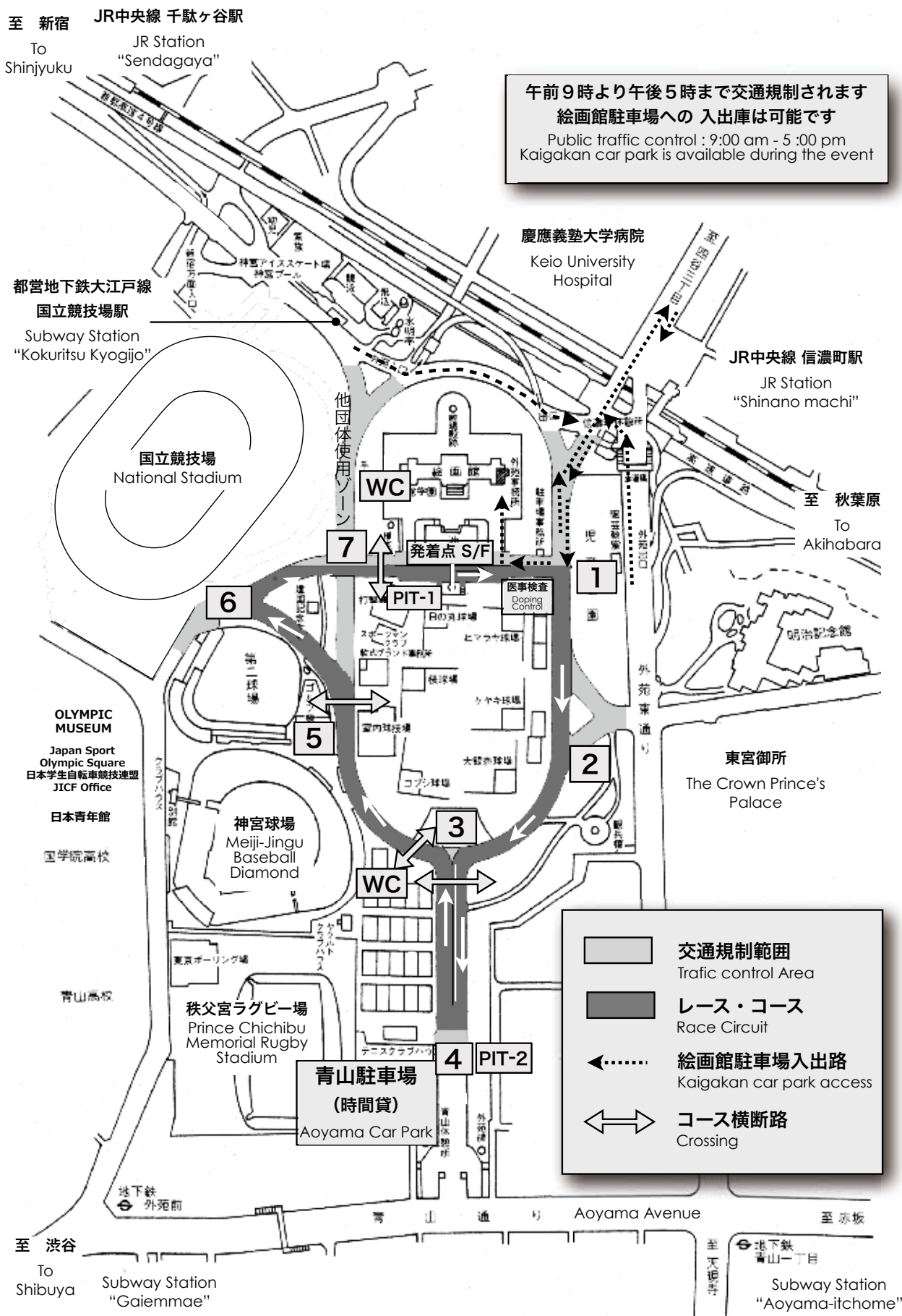
最寄りの病院: Nearest Hospital

慶應義塾大学病院 KEIO University Hospital

〒160-8582 東京都新宿区信濃町 35 番地

Tel. 03-3353-1211 (代表)

コース・規制範囲図 / CIRCUIT PLAN





まもる笑顔は、未来のため。

“すべての人に安全と安心を提供するメーカー”、オージーケーカブトは、子供から大人にいたるまで、ずっとみなさまのパートナーとして親しんでいただける生涯ブランドを目指し、「品質と心質」にこだわり続けます。すべての笑顔を守るために。



Kabuto

テクニカル・ガイド

v20240227

- 大会日程 2024年3月10日(日) (雨天決行、積雪・路面凍結・荒天の場合中止)
- 会場 明治神宮外苑周回コース 1周1.5km (東京都新宿区・港区)
- 大会主旨 本大会は、本年度全日本学生ロードレースカップ最終戦としてその総合優勝者を決定し、またクリテリウムにおける大学対抗優勝校を決定する大会である。本大会は2007年2月に首都東京での初めてのクリテリウム大会として開催された「日本学生自転車競技連盟創立70周年記念行事 明治神宮外苑学生自転車クリテリウム大会」を発展的に継承し、学生スポーツのメッカである神宮外苑での学生自転車スポーツの振興普及を図るとともに、日本のサイクル・スポーツ全般の振興と東京の都市文化醸成に寄与することを目的としつつ、更に将来学生自転車競技者となる若年層の拡大に向けて、小・中学生ならびにその両親の年齢層にサイクル・ロードレースの楽しさを体験する機会を提供することをも目指す。
- 主催・主管 日本学生自転車競技連盟
- 後援 明治神宮外苑 新宿区 公益財団法人日本自転車競技連盟 公益財団法人日本サイクリング協会 (順不同)
- 会場警備 株式会社シミズオクト
- 協力 東京都自転車競技連盟 Kデザイン・カンパニー
- 協賛 井上ゴム工業株式会社 株式会社イノアックコーポレーション 株式会社日直商会 株式会社パールイズミ (順不同)
- 株式会社オージーケーカブト 株式会社ユニバーサル・フィナンシャル
- 競技規則 国際自転車競技連合(UCI)規則、(公財)日本自転車競技連盟競技規則、本大会特別規則による。
- 競技種目および参加資格

(I) 会場入場者全員共通事項

- 1-1 本連盟各種ガイドラインを順守し、その遂行に協力し委員・役員の指示に従うことを参加条件とする。ガイドラインを順守せず、その遂行に協力を拒む場合、それが故意であるかないかに関わらず、大会参加・会場への入場を認めない。尚、参加申込にあたっては、本大会参加に伴って万が一生じた如何なる不利益・損害も参加者本人の責任に帰する事を承諾し、熟慮のうえ参加可否を判断すること。

(II) 小中学生、オープンライド以外の種目の参加資格共通事項

- 2-1 当該年に有効な JCF (公益財団法人日本自転車競技連盟) 又は UCI 加盟国連盟の登録競技者である事

2-2 (4-1. ～ 4-4. 参加資格共通事項)

本連盟加盟校の登録選手で、大会当日を含む年度もしくはその前年度に下記の研修を受講済みの者

- ・本連盟主催もしくは認定の座学系研修会(リモート講習含む)を少なくとも2回
- ・本連盟主催もしくは認定の実地系研修会(リアル参加実技)を少なくとも1回

両方とも受講していることを参加の必須条件とする。本大会では、大会当日にセーフティライド実地系研修会を実施しない。スタート後に未受講が明らかになった場合には失格とし、そのレースの順位を与えない。

参加資格は参加申込時点のクラス区分による。但し参加申込締切後、本大会迄の大会においてクラス3からクラス2に昇格したものはエントリーすることができない。

なお、女子クリテリウムについては本連盟加盟校の登録選手以外の参加も認めるが、座学系研修会を少なくとも1回以上受講済みであることを要件とする。

(III) 定員を上回った場合の措置

各カテゴリの人数上限を上回る申込みがあった場合、上記研修会参加状況を勘案して参加者を決定する。実地系研修会を1回2点、座学系講習会を1回1点として、直近2年度内ポイント合計による。

上記ポイントは、エントリー時点で獲得済のもののみがカウントされる。

(IV) 各カテゴリ毎の参加資格要件

- 4-1 大学生男子大学対抗(グループ1) 20周30km 概ね70名以内
本年度日本学生自転車競技連盟加盟各校を代表する1校あたり2名から3名までの選手。ただし日本学生自転車競技連盟ロードカテゴリ1または2の選手に限る。本連盟が招聘したチーム(海外チーム等)、1チームあたり2名から3名までの選手。グループ1の申込者に正当な理由による欠場者がある場合、当日ゼッケン配布時に、グループ2参加申込者より2名迄の補欠を起用する事ができる。また、グループ1の参加者は1名のみ、グループ2の参加申込者と交代することができる。その場合、当日のゼッケン配布時に選手交代届を選手受付に提出すること。選手個人のゼッケン番号は、グループが入れ替わっても、変更しないので注意すること。また、選手交代届については、あらかじめ学連HP上に用紙をアップするので、プリントして当日に持参すること。2名未満のチームは参加するとはできない。当日欠場により2名未満となったチームはグループ2での出走を認めることがある。
- 4-2 大学生男子グループ2 8周12km 概ね100名以内(50名×2組)
本連盟ロードカテゴリ・クラス1または2の選手。主催者招待によりオープン参加を認める。
- 4-3 大学生男子グループ3 4周6km 概ね80名以内(40名×2組)
本連盟ロードカテゴリ・クラス3の選手。
- 4-4 女子クリテリウム 8周12km
(公財)日本自転車競技連盟登録女子競技者で本連盟が参加を認めた者。
- 4-5 小・中学生タイムトライアル 1周1.5km
小・中学校年齢の児童・生徒で、ヘルメット&グローブ着用・自分の自転車に参加できる者。
- 4-6 パラサイクリング・タイムトライアル 1周1.5km
本年度(公財)日本自転車競技連盟通年もしくは臨時登録競技者(男女)
- 4-7 マスターズ・タイムトライアル 1周1.5km
本年度(公財)日本自転車競技連盟通年登録選手(男女)で、開催年1月1日時点で満30歳以上の者。
- 4-8 オープン&ウォームアップ・ライド(レースではありません) 5周7.5km
ヘルメット&グローブ着用・自分の自転車に参加できる者。および上記各カテゴリに参加するすべての者。

(V) 立哨役員・競技役員、テントの供出

日本学生自転車競技連盟加盟各校については選手数に応じた立哨役員・競技役員と、大会本部用テントの供出を参加のための必要条件とする。

選手数	供出立哨役員数 東京および隣接県の学校	供出立哨役員数 本州以外の学校	供出立哨役員数 左記以外の学校
1	0	0	0
2	1	0	0
3	2	0	1
4	2	0	1
5	3	0	2
6	4	1	2
7以上	選手数の2/3	選手数の1/5	選手数の1/3

いずれの場合も小数点以下は切り上げ

立哨役員は、コース上の指定された箇所(合計約100カ所)に立ち、選手と一般客・歩行者との事故防止その他の安全管理にあたる。立哨役員は審判資格を必ずしも必要としなが、自転車競技に関する経験もしくは理解があり、自転車競技のスピード感や走行特性について体得している当年3月31日時点で満18歳以上の者とする。立哨役員・競技役員には、交通費等は支給されない。

大会本部用テントの供出

大学対抗に出場する東京・埼玉・千葉・神奈川の学校から各1張。テントの大きさは特に制限しないが、大きめのものを歓迎。供出するテントの大きさ・数を電子メールで事務局に連絡のこと。持参しない場合は1万円のペナルティを課す。

(VI) 使用できる自転車器材

小・中学生は特に制限しない。他のカテゴリはUCI規則および日本学生自転車競技連盟の規定を順守すること。(一般公道を走行可能な装備が求められる。ベル・反射板等も備えること)。

参加申込

申込期限 2月6日(火) 13:00迄

開催日程が変更になりました。すでに申込み済の方も、改めて申込み手続きをしてください。google formも新しくなっていますので、再度申しこんでください。

・2023jicf.rcs.entry@gmail.com宛に所定様式のEXCELシート提出、ライセンスデータ添付

・かつ下記GOOGLE FORMに記入返信<https://forms.gle/YUEQxZ7hxNdnVSsg8>

・グループ1は同一期限内にユニフォーム・データ(半袖上半身)も送付すること。

同データは本連盟のユニフォーム登録にあたって提出するユニフォームデータと同じもので、ロード用半袖上半身、なるべくジャージ・メーカー作成のデータを使用のこと

支払期限 2月9日(火) 18:00迄 参加可否を確認後に下記宛振込

振り込み先:長野県労働金庫 諏訪湖支店 普通 9687405 日本学生自転車競技連盟

支払が完了することで参加申込受付完了となる。納入した参加料は理由のいかんに関わらず返却しない。申込後の欠場については、感染対策に鑑みペナルティは課さないが、事前に連絡すること。

参加料 男子大学対抗グループ1

1チーム6万円

その他のカテゴリは本連盟登録大学生

7,000円

小・中学生

500円

女子オープン

10,000円

マスターズ、パラ・タイムトライアル

各10,000円

オープン&ウォームアップ・ライドのみの参加者は3,000円とする。

参加料には、駐車料金は含まない。

プログラム広告掲載

グループ1参加チームは、プログラム広告(A4版の1/3)を出す事ができる。

・広告原稿締め切り日は2月6日、締切に間に合わない原稿は掲載されない。広告データの作成の注意点:データの仕上がり寸法:仕上がり(高さ80mm×左右170mm)、データの作成アプリケーションと保存方法についてPDF/X-1a:2001形式(Acrobat 4:PDF 1.3)で保存したPDFデータをお願いします。X-1a形式であるかどうかの確認方法は、PDFを開いてファイルからプロパティを選び、カスタムのタブを選ぶと、値のところにPDF/X-1a2001と記載されています。X-1a形式であれば印刷用のデータとなります。もしくはJEPG形式で保存、またはイラストレータのデータで文字アウトラインをかけて、写真やリンクデータは埋め込み、CS6以前のデータで保存してください。イラストレータのデータの場合、バージョンによる不具合の可能性があるため、なるべくX-1aの形式で保存したPDFでご入稿いただくようよろしくお願いします。

チーム責任者の届出

男子・女子クリテリウムに選手が参加するチームは、事前に、チーム毎の責任者を選任して届出なければならない。この責任者は、チーム選手・スタッフ全員が諸規則・本連盟感染防止ガイドラインを順守し、指示・連絡事項の伝達を徹底するなどして、感染拡大防止に努めなければならない。

事前チーム代表者会議

2024年3月7日(木) 20時より、リモート事前チーム代表者会議を行う。チーム責任者は出席のこと。会議アドレスはエントリーシート記載連絡先に後日連絡する。

大会本部 聖徳記念絵画館正面スタート・フィニッシュ地点付近テント

開設時間 08:00-17:00 電話 090-2207-2369

ライセンス確認および出走者確定・選手受付

大会当日受付でのライセンスチェックを行わないので、選手全員の一名分ずつのライセンスの写真画像データまたはスキャン画像データをエントリー用紙提出時に添付すること。ライセンスが申請中の場合は、申請中であることを証明する書類のデータを添付すること。

(小・中学生、オープン&ウォームアップ・ライドは大会申込を以て臨時登録者として扱う)

本部にて、9:00-11:30の間にゼッケンを受取ること。

事故措置

1. 競技中発生した事故について参加者は自ら責任を負う。主催者にて応急処置の体制は準備するが、以降は参加者の責任と費用負担にて対応の事。
2. 各自の責任において参加者自身の傷害保険に加入の事。
3. 各選手は、健康保険証を必ず持参すること。

肖像権

本大会の大会期間中の肖像権は主催者に帰属するものとする。主催者からオンボードカメラ映像のデータ提供要請があった場合、応じること。

取材申請

メディア関係者が来場される場合、当連盟HPより取材申請書を入手し、大会開催2日前の20時までに取材申請書をメールで事務局宛ご提出ください。また当連盟の「大会開催時ウイルス感染防止対策ガイドライン」に沿って、ご協力いただくことを原則とします。なお、状況により来場をお断りする場合がありますのでご理解ください。

司法管轄

本大会への申込みを以て、本大会に関する一切の紛争(裁判所の調停手続を含む)は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とすることに合意したとみなす。

特別規則

第1条 (安全配慮義務)

参加選手・チーム関係者は、競技規則・諸ガイドラインを順守し、よく整備された自転車に参加すること。

第2条 (チーム代表者会議)

参加チーム代表者は、大会日程・時程表に示された日時に会議(リモート形式)に参加すること。

第3条 (個人順位)

(クリテリウム 男子グループ1、グループ2、女子)

最終周回のフィニッシュラインへの到達順位により順位を決定する。

(クリテリウム 男子グループ3)

テンポレース方式で行う。毎周回にフィニッシュラインを先頭で通過した者に1点を与える。最終回も同様。得点の多いものを優位とし、同点の場合は最終周回着順による。周回獲得者には20点を与える。

(タイムトライアル)

完走タイムにより順位付けを行う。

第4条 (周回獲得、遅れ)

主集団の後尾に追いついた競技者は1周回先行したものとみなし、周回の優位性を認める。原則としてメイン集団より遅れた20名以下の集団の選手は直ちに失格とする。認められる事故による遅れの場合、遅れ集団が20名以上の場合はコミッセルの判断による。競技を中止した選手は、コースから出て、速やかにゼッケンを外すこと。

第5条 (ニュートラリゼーションおよび技術支援)

認められる事故の場合、グループ1は最後の10周、グループ2・女子は4周、グループ3は2周を除き、1週のニュートラリゼーションが認められる。器材修理は、指定されたピット(S/F地点および银杏通りUターン部)においてのみ認められる。

第6条 (中間スプリント賞)

男子大学生グループ1の5周回目、10周回目、15周回目終了時にフィニッシュラインを1位で通過した者に中間スプリント

賞として賞品を与える。また、女子については4周目終了時にフィニッシュラインを1位で通過した者に同じく中間スプリント賞として賞品を与える。(2024年女子中間スプリント賞は3周目終了時とする)

第7条 (大学対校順位)

大学生男子グループ1に出場の各校における上位者2名の順位合計の少ない学校順。順位合計同等の場合はより上位者を有する学校。

第8条 (RCS ランキング)

本連盟「大会参加基準」に示された RCS ランキングポイント表注記に基づき他のラウンドの倍得点が付与される。グループ1出走者にはクラス1の、グループ2出走者にはクラス2の RCS ランキングポイントを付与する。

https://jicf.info/hp/wp-content/uploads/2023/04/2023_taikaisankakijun.pdf

第9条 (飲食料補給)

飲食料の補給は認めない。

第10条 (自転車およびギア比)

UCI 規則および明確化ガイドを順守のこと。ブレーキレバーの取付角度にも注意のこと。

<https://jicf.or.jp/download/rmcx> 競技のブレーキレバー取付け角度の制限/?wpdmli=76190&refresh=65ddfea0c84f21709047456

日本学生自転車競技連盟の競技大会において使用する自転車に関する規程を順守のこと

https://jicf.info/hp/wp-content/uploads/2023/05/gakuren_annai20230405.pdf

公道上を走行可能な装備を義務付ける。ベル、後方反射板もしくは反射テープも必須とする。

クリテリウムにおけるトップギア時のペダル1回転あたり前進距離を10.3m以内に制限する。(通常700cで53*11迄に相当)

タイムトライアルのユースのギア比はJCF規則による。

本条項は小中学生タイムトライアル・オープンライドには適用しない。

第11条 (無線装置)

競技者はレース中、無線装置の使用を認められない。

第12条 (賞典)

オープン&ウォームアップ・ライド

参加者全員に参加賞(表彰式はありません)

小中学生タイムトライアル

完走者全員にタイム証明書・参加者全員に参加賞(全員表彰台へ)

マスターズ、パラ・タイムトライアル

完走者全員にタイム証明書・参加者全員に参加賞(全員表彰台へ)

以下のカテゴリーは上位3位までを対象として準備が整い次第、表彰式を行う。

女子クリテリウム、男子グループ1, 2, 3

優勝者: 賞状・賞品、第2-8位: 賞状

大学対校順位

優勝校: 賞状・賞品、第2-8位: 賞状

全日本学生ロードレースカップシリーズ年度総合表彰

年間総合リーダー: リーダージャージ、優勝杯、賞品

大学生男子グループ3各組上位5%は、クラス2に昇格する。大学生男子グループ2各組ならびに大学生男子グループ1に出走したクラス2の選手の最上位者はクラス1に昇格する。

第13条 (環境保護)

ボトル、食料の残り・包装等、固形物は、フィニッシュ地点およびピットにてチーム同僚が回収する場合のみ静かに落とす事が認められる。それ以外の場所でのあらゆる固形物の投げ捨てはコース内・外、レース中・外を問わず、4000円のペナルティを科す。

第14条 (ドーピング・コントロール)

1. 全ての競技会は、ドーピング・コントロール対象大会となる可能性があります。

2. 本競技会参加者(18歳未満の競技者を含む。以下同じ)は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなします。18歳未満の競技者については、本競技会への参加により親権者の同意を得たものとみなします。

3. 本競技会に参加する18歳未満の競技者は、親権者の署名した同意書を大会に持参し携帯して下さい。親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構(JADA)のウェブサイト <https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html> からダウンロードできます。18歳未満の競技者はドーピング検査の対象となった際に、親権者の署名が記載された当該同意書を担当検査員に提出して下さい。なお、親権者の同意書の提出は18歳未満時に1回のみで、当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出て下さい。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後7日以内にJADA事務局へ郵送にて提出して下さい。親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング・コントロール手続に一切影響がないものとします。

4. 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意して下さい。

5. 競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後2時間の安静が必要となるので留意して下さい。

6. 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト <http://www.playtruejapan.org> にて確認して下さい。

誓約書

大会主催者 殿

下記大会参加にあたり、当チームの選手・監督・コーチ・メカニック・その他すべての自チーム員が以下のことを確認し、順守することと誓います。

- 1 UCI (国際自転車競技連合)・JCF (日本自転車競技連盟) 規則を順守し、誠実かつスポーツマン精神に則りフェアな態度で自転車競技に参加すること。(UCI 規則 1.1.004, JCF 規則第5条2.(4))
- 2 大会(競技中のみならず式典・公式練習等の付帯行事を含む)における参加者の肖像権は本連盟に帰属すること。(JCF規則第5条2.(9) 準用)
- 3 規則に規定される仕事と責任に加えて、チーム監督は、スポーツ活動と競技者のチーム内の自転車スポーツ実践における社会的・人的条件の管理について責任がある。(UCI 規則 1.1.078)
- 4 チーム監督は絶えず組織的に、可能なときはいつでも、社会的・人的条件を改善する努力をしなければならない。そしてチームの競技者の健康と安全を守らなければならない。(UCI 規則 1.1.079)
- 5 チーム監督は、チームに所属する者あるいはいかなる役目であってもそのために働く者により規則が順守されることを保証しなければならない。彼は他の者の模範とならなければならない。(UCI 規則 1.1.080)
- 6 すべてのライセンス保持者はレースのない時でも常にきちんとした服装をし、あらゆる場合において礼儀正しいふるまいをしなければならない。言葉、身振りや書いたものなどで他のライセンス保持者や役員やスポンサーや連盟、UCI および自転車競技全般の名誉や評判を傷つけてはならない。批評の権利は、穏健に、十分な動機があり筋の通った方法でのみ行使できる。(UCI 規則 1.2.079)
- 7 競技者はスポーツマンとしてあたえられた機会を守らなければならない。競技者間の利害に関し、いかなる共謀や偽りや誹謗は禁止する。(UCI 規則 1.2.081)
- 8 競技者は最大限の注意を払って行動しなければならない。競技者が原因で発生した事故に関しては自分で責任を負わなければならない。競技者は開催国における法律を順守しなければならない。(UCI 規則 1.2.082)

注意: 大会要項は諸事情により変更される場合があるので、JICF ウェブサイトを随時チェックすること。

問い合わせ先: 日本学生自転車競技連盟

電子メール: jicf@remus.dti.ne.jp (エントリー提出は上述参照) ホームページ: <https://jicf.info/>

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 ジャパンスポーツオリムピックスエア408

電話 & FAX 03-6804-2329

(電話は原則として毎週水曜19時~21時の間のみの対応となります。本連盟へのお問い合わせは電子メールにてお願いします。)

出走者一覧 / START LIST

オープン&ウォームアップ・ライド (レースではありません)
OPEN & WARM UP RIDE10:50 スタート
1.5km × 5周 = 7.5km

ゼッケン	氏 名	ゼッケン	氏 名	ゼッケン	氏 名
501	鎌田 敬介	502		503	

マスタースタイムトライアル
MASTER'S TIME TRIAL11:40 スタート
1.5km × 1周 = 1.5km

出走順	ゼッケン	氏 名	Name	スタート時刻	フィニッシュ	記録(タイム)
1	401	矢野 国康	YANO, Kuniyasu	43Rapid		
				11:40:00	: : "	分 秒

小中学生タイムトライアル
KIDS TIME TRIAL11:42 スタート
1.5km × 1周 = 1.5km

出走順	ゼッケン	氏 名	Name	学 年	スタート時刻	フィニッシュ	記録(タイム)
1	402	小路 裕紀	KOUJI, Yuuki	中 2	11:42:00	: : "	分 秒
2	403	芝山 瑠透	SHIBAYAMA, Ruito	中 2	11:43:00	: : "	分 秒
3	404	茂木 陽向	MOTEGI, Hinata	小 6	11:44:00	: : "	分 秒
4	405	富永 和彦	TOMINAGA, Kazuhiko	小 5	11:45:00	: : "	分 秒
5	406	鎌田 晃士	KAMATA, Akito	小 3	11:46:00	: : "	分 秒
6	407	富永 優希	TOMINAGA, Yuuki	小 3	11:47:00	: : "	分 秒
7	408	矢野 こはる	YANO, Koharu	小 1	11:48:00	: : "	分 秒

女子クリテリウム
WOMEN'S CRITERIUM13:50 スタート
1.5km × 5周 = 7.5km

ゼッケン	氏 名	チーム名 (Name of Team)	学年
101	沢 登 香 里	順天堂大学	3
102	牧 田 咲 子	順天堂大学	4
103	濱 口 夕 海	法政大学	2
104	宮 本 奏 穂	立命館大学	1
105	岩 元 美 佳	鹿屋体育大学	2
106	川 本 莉 子	鹿屋体育大学	2
107	筒 井 楓	山梨県立笛吹高等学校	高 1

中間スプリント賞 INTERMEDIATE SPRINT	ゼッケン	Name	Name of Team
3周回終了時			

男子大学生 グループ3 A組・B組
 GROUP-3-A・B / UNIVERSITY STUDENT-MEN

 A組 11:10 スタート・B組 A組終了後スタート
 1.5km×4周=6km

男子大学生 グループ3-A組 11:10スタート

ゼッケン	氏 名	大学名 (Name of Team)	学年
301	小 澤 侑 陽	東北学院大学	2
302	中 原 秀 昂	筑波大学	5
303	生 田 楓 唯	作新学院大学	2
304	塚 田 濯	順天堂大学	3
305	鈴 木 巧 汰 郎	順天堂大学	1
306	平 井 健 三	慶應義塾大学	2
307	阿 部 浩 大	慶應義塾大学	2
308	南 山 航 介	慶應義塾大学	1
309	寺 田 伊 織	慶應義塾大学	1
310	植 松 史 弥	中央大学	2
311	西 村 明 展	東京大学	2
312	矢 口 友 輝	東京都市大学	1
313	鈴 木 洋 輔	一橋大学	2
314	後 藤 ゴ ウ	法政大学	3
315	中 島 康 征	法政大学	2
316	吉 野 瑠 人	法政大学	1
317	山 岡 秀 平	明星大学	1
318	矢 野 行 哉	立教大学	2
319	江 澤 翼	東海大学	1
320	江 尻 敬 介	日本体育大学	1
321	鈴 木 雄 大	新潟大学	3
322	内 田 峻 輔	新潟食料農業大学	1
323	川 田 澄 人	信州大学	2
324	渡 邊 蓮	朝日大学	1
325	奥 山 和 紀	南山大学	4
326	小 幡 優 陽	明治国際医療大学	2
327	山 下 歩	明治国際医療大学	1
328	竹 内 奨 吾	関西大学	1
329	勝 村 岳 大	鹿屋体育大学	2

男子大学生 グループ3-B組 A組終了後スタート

ゼッケン	氏 名	大学名 (Name of Team)	学年
330	茂 呂 佳 名人	東北学院大学	2
331	西 田 圭	作新学院大学	3
332	梅 澤 楽 音	埼玉大学	4
333	中 島 海 礼	順天堂大学	1
334	加 藤 尚 達	学習院大学	2
335	六 川 毅	慶應義塾大学	2
336	長谷川 嘉 洋	慶應義塾大学	1
337	高 橋 陽 輝	慶應義塾大学	1
338	押 山 響	駒澤大学	1
339	鎌 田 将	東京大学	M1
340	小 寺 玲 二 郎	東京工業大学	2
341	山 本 航 輝	東京都市大学	1
342	横 溝 貫 太	法政大学	3
343	福 地 晶	法政大学	3
344	屋 口 修 治	法政大学	1
345	吉 田 唯 斗	明治大学	2
346	鹿 島 楓 太	立教大学	4
347	町 田 和 稀	立教大学	1
348	山 下 大 智	東海大学	1
349	新 垣 快 琉	日本体育大学	1
350	関 麟 太 郎	新潟大学	2
351	安 田 和 佐	山梨学院大学	2
352	濱 田 大 輝	朝日大学	2
353	イ チェ リ ユ ン	中京大学	2
354	加 藤 貴 大	三重大大学	3
355	樋 口 源	明治国際医療大学	1
356	富 倉 巧	立命館大学	3
357	中 元 夢 来	関西大学	1
358	福 永 隼 人	鹿屋体育大学	1



AIR SPEED

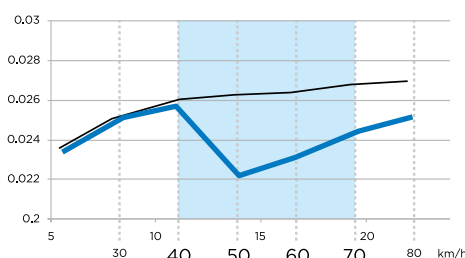
ロードバイクの有効速度に特化して開発した
空気抵抗軽減素材「スピードセンサー® II」

エアスピードシリーズ

2021年日本ナショナルチームのウェアにも採用された空気抵抗軽減素材「スピードセンサー® II」を使用したオーダーウェアのハイエンドモデル。乗車姿勢を忠実に再現した超立体設計で動きやすさもアップ。トップ選手が使用する、レース志向のサイクリストに人気のウェアです。エアスピードシリーズは、半袖ジャージ、ビブパンツ、半袖ロードスーツ、長袖ワンピースをご用意しています。



エアスピード半袖ジャージ エアスピードビブパンツ



風洞実験や PIV 測定を繰り返し、作られた素材は、レースでの速度域にあたる 40km/h から空気抵抗の軽減効果が加速し、50km/h 付近で空気抵抗の軽減が最大化する（青線がスピードセンサー® II）

トップアスリートに選ばれるクオリティ パールイズミのオーダーウェア

トップアスリートも着用する高機能素材、発色の良いプリントで、チームの個性を生かしたオリジナルウェアを、パールイズミの専門スタッフが一緒に作り上げます。学生向け特別価格もご用意し、学生サイクリストを応援します。

株式会社パールイズミ オーダーサービス課
〒130-0026 東京都墨田区両国 2-4-2
TEL 03-3633-5461



オーダーサービスの
ページはこちら

男子大学生 グループ2 A組・B組

GROUP-2-A・B / UNIVERSITY STUDENT-MEN

A組 13:00 スタート・B組 13:25 スタート

1.5km×8周=12km

男子大学生 グループ2-A組 13:00 スタート

ゼッケン	氏 名	大学名 (Name of Team)	学年
201	小 関 創 斗	作新学院大学	3
202	菅 原 聡	順天堂大学	2
203	鈴 木 智 也	順天堂大学	1
204	中 谷 研 斗	慶應義塾大学	1
205	大 室 佑	中央大学	1
206	内 田 崇 志	東京工業大学	4
207	久 我 聡	東京都市大学	3
208	吉 川 敬 介	日本大学	3
209	白 川 隆 太	日本大学	3
210	向 川 颯 太	日本大学	3
211	森 本 凜太郎	日本大学	2
212	藤 本 怜	日本大学	1
213	増 山 輝 咲	法政大学	3
214	濱 田 大 空	法政大学	2
215	小久保 瑠 惟	明治大学	2
216	欠 番		
217	仙洞田 雄 大	明星大学	3
218	阿 部 耀 介	立教大学	4
219	鈴 木 紳之助	早稲田大学	1
220	古 川 優	神奈川大学	3
221	平 野 慎太郎	東海大学	2
222	石 井 麻希斗	日本体育大学	3
223	泉 颯 太	日本体育大学	2
224	青 木 駿	日本体育大学	1
225	落 合 康 生	日本体育大学	1
226	若 月 隆 真	山梨学院大学	4
227	山 浦 秀 明	松本大学	4
228	浅 野 壺 輝	中京大学	1
229	清 水 稜太郎	明治国際医療大学	2
230	吉 田 壮 良	大阪産業大学	3
231	西 村 聡 太	関西大学	1
232	津 留 峻	鹿屋体育大学	3
233	並 江 優 作	鹿屋体育大学	1

男子大学生 グループ2-B組 13:25 スタート

ゼッケン	氏 名	大学名 (Name of Team)	学年
234	横 矢 峻	埼玉大学	3
235	中 島 壮 琉	順天堂大学	2
236	西 優 斗	学習院大学	2
237	今 本 未 悠	駒澤大学	2
238	篠 崎 蒼 平	東京大学	4
239	山 本 昂 広	東京都市大学	4
240	古 山 覚 理	日本大学	3
241	櫻 井 仁 志	日本大学	3
242	中 野 楚 樂	日本大学	3
243	高 佐 龍太郎	日本大学	3
244	新 井 敬 太	日本大学	2
245	新 宮 颯 太	日本大学	1
246	風 間 晴 喜	法政大学	3
247	石 井 海 斗	法政大学	2
248	永 野 昇 海	明治大学	2
249	反 保 亮 太	明星大学	3
250	田 中 遥 翔	明星大学	1
251	山 里 一 心	早稲田大学	1
252	鈴 木 優 也	神奈川大学	4
253	齋 藤 祥 樹	東海大学	4
254	福 田 晃 司	日本体育大学	3
255	池 田 悠 生	日本体育大学	2
256	酒 井 秀	日本体育大学	2
257	小 林 海 斗	日本体育大学	1
258	酒 井 章 剛	新潟食料農業大学	2
259	井 上 智 巴	信州大学	3
260	武 田 柊	中京大学	1
261	水 井 悠 都	南山大学	3
262	榎 木 啓 樹	立命館大学	3
263	金 田 歩	大阪産業大学	2
264	坊 紳	近畿大学	M1
265	杉 野 翔 一	鹿屋体育大学	1

男子大学生 グループ1 (大学対抗)

GROUP-1 / UNIVERSITY STUDENT-MEN

14:10 スタート

1.5km×20周=30km

大学名 (Name of Team)			
ゼッケン	氏 名	Name	学年
明治大学			
1	小 泉 響 貴	KOIZUMI, Hibiki	2
2	村 上 裕二郎	MURAKAMI, Yujiro	3
3	海老島 卓 弥	EBISHIMA, Takuya	1
日本体育大学			
4	玉 城 翔 太	TAMASHIRO, Shota	3
5	高 久 胡太郎	TAKAKU, Kotaro	3
6	福 永 和 人	FUKUNAGA, Kazuto	2
立命館大学			
7	松 井 丈 治	MATSUI, Joji	2
8	高 本 亮 太	KOUMOTO, Ryota	3
9	榊 原 健 太	SAKAKIBARA, Katsuta	1
立教大学			
10	中 島 涉	NAKAJIMA, Ayumi	3
11	外 園 晋之介	HOKAZONO, Shinnosuke	2
12	欠 番		
作新学院大学			
13	左 田 龍 脩	SADA, Ryusuke	2
14	及 川 弘 恭	OIKAWA, Hiroyasu	1
15	阿 藤 来 夢	ASO, Raimu	1
順天堂大学			
16	渡 邊 和 貴	WATANABE, Kazuki	3
17	塩 出 皓 成	SHIODE, Kousei	3
18	大 森 虹 亮	OHMORI, Kousuke	1
慶應義塾大学			
19	大 前 翔	OHMAE, Kakeru	5
20	山 田 壮太郎	YAMADA, Soutaro	3
21	秋 田 圭 佑	AKITA, Keisuke	2
中央大学			
22	伊 藤 恭	ITO, Kyo	3
23	山 下 虎ノ亮	YAMASHITA, Toranosuke	2
24	三 宅 太 生	MIYAKE, Taisei	1
日本大学			
25	岡 本 勝 哉	OKAMOTO, Katsuya	3
26	北 嶋 桂 大	KITASHIMA, Keita	3
27	阿 部 源	ABE, Gen	1
法政大学			
28	宇田川 墨	UDAGAWA, Rui	3
29	逸 崎 瑞 喜	ITSUZAKI, Mizuki	3
30	大 山 航 平	OHYAMA, Kouhei	3
明星大学			
31	青 島 冬 弥	AOSHIMA, Touya	4
32	小 森 継 心	KOMORI, Keishin	2
33	佐 藤 愛 祈	SATO, Aiki	1

大学名 (Name of Team)			
ゼッケン	氏 名	Name	学年
早稲田大学			
34	美 甘 星次郎	MIKAMO, Seijiro	3
35	神 村 泰 輝	KAMIMURA, Taiki	2
36	大 仲 凜 功	OHNAKA, Riku	2
新潟食料農業大学			
37	梅 津 飛 羽	UMETSU, Towa	1
38	加 藤 快 介	KATO, Kaisuke	1
39	欠 番		
信州大学			
40	辻 本 青 矢	TSUJIMOTO, Seiya	3
41	山 内 涉	YAMAUCHI, Wataru	2
42	松 崎 一 勢	MATSUZAKI, Issei	1
中京大学			
43	小 森 悠 音	KOMORI, Yuto	2
44	鈴 木 創 太	SUZUKI, Souta	2
45	住 吉 晴 気	SUMIYOSHI, Haruki	1
関西大学			
46	至 田 恵 人	SHIDA, Keito	4
47	藤 田 黎 明	FUJITA, Reimei	3
48	山 岸 正 汰	YAMAGISHI, Shota	2
福岡大学			
49	石 丸 幸 士 郎	ISHIMARU, Koshiro	3
50	岡 山 優 太	OKAYAMA, Yuta	3
51	欠 番		
鹿屋体育大学			
52	安 井 悠 真	YASUI, Yuma	3
53	福 迫 倅 輔	FUKUZAKO, Kousuke	2
54	梅 澤 幹 太	UMEZAWA, Kanta	1

中間スプリント賞 INTERMEDIATE SPRINT	ゼッケン	Name	Name of Team
5周回終了時			
10周回終了時			
15周回終了時			

男子大学生グループ1 チームユニフォーム紹介

明治大学



2024RCSランキング1位
小泉響貴選手所属校

日本体育大学



2023 グループ1
大学対抗順位1位校

立命館大学



2024RCSランキング2位
松井丈治選手所属校

立教大学



2024RCSランキング3位
中島 渉選手所属校

作新学院大学



順天堂大学



慶應義塾大学



中央大学



日本大学



法政大学



明星大学



早稲田大学



新潟食料農業大学



信州大学



中京大学



関西大学



福岡大学



鹿屋体育大学





© KINAN Racing Team / Syunsuke FUKUMITSU

一緒につくりあげた、技術力

IRC TIRE
Inoue Rubber Co., Ltd.

二輪タイヤメーカー IRC TIREは、
安心と安全を使命にプロダクトを通じ「駆ける歓び」
「新しい価値」を提供してまいります。

irc-tire.com



アイ・アール・シー 井上ゴム工業株式会社

〈本社〉〒450-0003
愛知県名古屋市中村区名駅南2丁目13-4
〈海外拠点〉北米・中国・東南アジア

Innovation & Action
INOAC

マットレス・住宅用断熱材・自動車部品・保冷輸送機器
「見えないところから暮らしを快適に」
それがイノアックの使命です。

inoac.co.jp



株式
会社 **イノアックコーポレーション**

〈本社〉〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南2丁目13-4
〈支店〉東京・名古屋・大阪・九州 〈営業所〉札幌・東北・浜松・広島
〈海外拠点〉北米・中国・東南アジア 他



上地 結衣選手 photo: 安藤 晃



©N.Tagami/KLEIN



Photo: Simon Cudby Rider: Collin Timmermans



Photo: Natsumi Shimizu



Photo: BWR Photo Pool

IRC TIREとイノアックはグループ企業です。

第一回大会成績 / RESULTS OF THE 1st EVENT 2007年2月4日(日)

日本学生自転車競技連盟創立70周年記念行事 明治神宮外苑学生自転車クリテリウム大会

大学対抗結果 対抗順位	
1位	明治大学
2位	鹿屋体育大学
3位	法政大学
4位	早稲田大学
5位	日本大学
6位	中央大学
7位	中京大学

グループA	
1位	湯浅 徹 明治大学
2位	角 令央奈 鹿屋体育大学
3位	島田 真琴 法政大学
グループB	
1位	湯浅 大輔 法政大学
2位	我妻 敏 日本大学
3位	兼平 純 日本大学

グループC	
1位	遠藤 邦明 法政大学
2位	下沖 功児 慶應義塾大学
3位	阿部 力也 日本大学
グループD	
1位	工藤 薫 早稲田大学
2位	大谷 雄貴 東海大学
3位	岡林 秀樹 信州大学

女子

1位	和田 里美 中京大学
2位	石井 寛子 明治大学
3位	小淵 千恵 順天堂大学



第二回大会成績 / RESULTS OF THE 2nd EVENT 2008年2月11日(祝)

2008年世界大学選手権自転車競技大会代表選手選考大会・日仏交流150周年記念

2007年度全日本学生ロードレースシリーズ最終戦 第二回 明治神宮外苑学生自転車クリテリウム大会

大学対抗結果 対抗順位	
1位	法政大学
2位	鹿屋体育大学
3位	早稲田大学

シリーズ戦総合成績	
1位	辻本 翔太 順天堂大学
2位	渡辺 将大 中央大学
3位	笠原 慶輔 明治大学

女子	
1位	川又 千裕 鹿屋体育大学
2位	戸井 麻里子 鹿屋体育大学
3位	智野 真央 鹿屋体育大学

マスターズ・クリテリウム	
1位	高橋 仁 東京
2位	善波 昭 京
3位	藤井 壮太 静
12位	ベルナル・イノ フランス

グループ1 (大学対抗)	
1位	湯浅 徹 明治大学
2位	内間 康平 鹿屋体育大学
3位	青柳 憲輝 法政大学

グループ2	
1位	渡辺 耕三郎 中央大学
2位	石倉 龍二 日本大学
3位	三浦 健正 法政大学

グループ3	
1位	江夏 司朗 鹿屋体育大学
2位	後藤 太志 法政大学
3位	東矢 昇太 中央大学

小中学生タイムトライアル 結果は外苑クリテ過去大会アーカイブで確認ください <https://gaiencriterium.tokyo/>

第三回大会成績 / RESULTS OF THE 3rd EVENT 2009年2月22日(日)

2008年度全日本学生ロードレースカップシリーズ最終戦 第三回 明治神宮外苑学生自転車クリテリウム大会

大学対抗結果 対抗順位	
1位	鹿屋体育大学
2位	中央大学
3位	日本大学

シリーズ戦総合成績	
1位	辻本 翔太 順天堂大学
2位	西園 良太 東京大学
3位	福田 高志 大阪経済大学

女子	
1位	荻島 美香 アライレーシング 37P
2位	近藤 美子 鹿屋体育大学 20P
3位	堀 友紀代 Ready Go JAPAN 17P

マスターズ・クリテリウム	
1位	佐々木 一昭 15P
2位	善波 昭 15P
3位	小畑 郁 10P

グループ1 (大学対抗)	
1位	内間 康平 鹿屋体育大学 42P
2位	吉田 隼人 鹿屋体育大学 23P
3位	窪木 一茂 日本大学 19P

グループ3A	
1位	川本 琢也 法政大学 18P
2位	棚原 寛崇 名桜大学 15P
3位	小山 真太郎 日本大学 13P

グループ2	
1位	角 令央奈 鹿屋体育大学 16P
2位	田仲 康矢 名桜大学 14P
3位	大久保 陣 法政大学 13P

グループ3B	
1位	若生 大貴 法政大学 33P
2位	二階堂 尚志 関西大学 24P
3位	山田 亮 日本大学 10P

小中学生タイムトライアル 親子タイムトライアル(親子の合計タイム) 結果は外苑クリテ過去大会アーカイブで確認ください <https://gaiencriterium.tokyo/>

第四回大会成績 / RESULTS OF THE 4th EVENT 2010年2月21日(日)

2009年度全日本学生ロードレースカップシリーズ最終戦 第四回 明治神宮外苑学生自転車クリテリウム大会

大学対抗結果 対抗順位	
1位	早稲田大学
2位	中央大学
3位	鹿屋体育大学

シリーズ戦総合成績(門田杯)	
1位	西園 良太 東京大学
2位	堀内 俊介 中央大学
3位	飯野 智行 中央大学

女子	
1位	近藤 美子 鹿屋体育大学 15P
2位	和田 里美 中京大学 13P
3位	田中 まい 日本体育大学 12P

マスターズ・クリテリウム	
1位	橋本 健 20P
2位	加地 邦彦 13P
3位	倉林 貴彦 11P

グループ1 (大学対抗)	
1位	野口 正則 鹿屋体育大学 29P
2位	佐々木 龍 早稲田大学 21P
3位	李 成鎬 韓国體育大學校 19P

グループ3A	
1位	木村 洋介 順天堂大学 15P
2位	荻原 英文 中央大学 10P
3位	阿部 拓真 法政大学 9P

グループ2	
1位	鈴木 近成 法政大学 15P
2位	野中 竜馬 鹿屋体育大学 13P
3位	山地 大介 順天堂大学 12P

グループ3B	
1位	佐々木 真 法政大学 20P
2位	前田 紘明 順天堂大学 12P
3位	清水 洋佑 同志社大学 9P

小中学生タイムトライアル 親子タイムトライアル(親子の合計タイム) 結果は外苑クリテ過去大会アーカイブで確認ください <https://gaiencriterium.tokyo/>

第五回大会成績 / RESULTS OF THE 5th EVENT 2011年2月20日(日)

2010年度全日本学生ロードレースカップシリーズ最終戦 第五回 明治神宮外苑大学クリテリウム

大学対抗結果 対抗順位	
1位	オランダ学生チーム
2位	中央大学
3位	日本大学

シリーズ戦総合成績(門田杯)	
1位	西園 良太 東京大学
2位	笠原 恭輔 中央大学
3位	入部 正太郎 早稲田大学

女子	
1位	石井 寛子 スーパーKアスリートラボ 28P
2位	近藤 美子 鹿屋体育大学 24P
3位	田中 まい 日本体育大学 17P

マスターズ・クリテリウム	
1位	小畑 郁 16P
2位	ソールズベリー・ポール 15P
3位	増田 輝之 13P

グループ1 (大学対抗)	
1位	吉田 隼人 鹿屋体育大学 38P
2位	窪木 一茂 日本大学 32P
3位	Lars van de Vall オランダ学生チーム 25P

グループ3A	
1位	安原 寿人 山梨学院大学 17P
2位	大庭 尚也 日本大学 10P
3位	村田 拓也 環太平洋大学 10P

グループ2	
1位	山本 元喜 鹿屋体育大学 19P
2位	住吉 宏太 日本大学 19P
3位	大中 巧基 早稲田大学 11P

グループ3B	
1位	福沢 涼太 日本体育大学 17P
2位	高橋 知生 東北学院大学 12P
3位	澤田 隼 東京工業大学 12P

小中学生タイムトライアル マスターズ・タイムトライアル 親子タイムトライアル(親子の合計タイム) 結果は外苑クリテ過去大会アーカイブで確認ください <https://gaiencriterium.tokyo/>

第六回大会成績 / RESULTS OF THE 6th EVENT 2012年2月19日(日)

2011年度全日本学生ロードレースカップシリーズ最終戦 第六回 明治神宮外苑大学クリテリウム

大学対抗結果 対抗順位	
1位	日本大学
2位	早稲田大学
3位	中央大学

シリーズ戦総合成績(門田杯)	
1位	大中 巧基 早稲田大学
2位	入部 正太郎 早稲田大学
3位	山本 隼 中央大学
3位	安井 雅彦 東京大学

女子	
1位	塚越 さくら 鹿屋体育大学 33P
2位	小島 蓉子 日本体育大学 24P
3位	古河 麻美 日本体育大学 17P

グループ3B	
1位	松本 諒太 朝日大学 17P
2位	阿部 拓真 法政大学 13P
3位	足立 一真 早稲田大学 12P

グループ1 (大学対抗)	
1位	黒枝 士揮 鹿屋体育大学 31P
2位	窪木 一茂 日本大学 29P
3位	堀内 俊介 中央大学 25P

グループ2B	
1位	板橋 義浩 日本大学 15P
2位	緑川 峻一 中央大学 14P
3位	矢次 翠 順天堂大学 10P

グループ2A	
1位	和田 力 日本大学 18P
2位	雨宮 正樹 日本大学 17P
3位	三浦 康嵩 早稲田大学 8P

グループ3A	
1位	平井 匠 法政大学 13P
2位	村上 哲也 順天堂大学 12P
3位	今井 一誠 早稲田大学 12P



マスターズ・クリテリウム	
1位	小畑 郁 27P
2位	ソールズベリー・ポール 13P
3位	山本 健一 13P

小中学生タイムトライアル マスターズ・タイムトライアル 結果は外苑クリテ過去大会アーカイブで確認ください <https://gaiencriterium.tokyo/>

第12回大会成績 / RESULTS OF THE 12th EVENT 2018年3月11日(日)

2017年度全日本学生ロードレースカップシリーズ最終戦 第12回 明治神宮外苑大学クリテリウム

大学対抗結果 対抗順位

1位	アムステルダム大学
2位	中央大学
3位	明治大学
4位	早稲田大学
5位	日本体育大学
6位	法政大学

シリーズ戦総合成績(門田杯)

1位	岡部 祐太	日本体育大学
2位	野本 空	明治大学
3位	渡邊 慶太	明治大学
4位	篠田 幸希	日本体育大学
5位	佐藤 遼	法政大学
6位	鈴木 浩太	明星大学

グループ3A

1位	松浦 響	朝日大学	09'06"
2位	田部 功明	立教大学	
3位	土橋 勇斗	大阪産業大学	

グループ3B

1位	手嶋 豊	関西大学	09'00"
2位	鷺巣 怜	明星大学	
3位	千葉 将太	東京大学	

グループ3C

1位	小林 弘幸	信州大学	09'11"
2位	長松 大祐	鹿屋体育大学	
3位	金子 征	立教大学	

女子

1位	橋本 優弥	鹿屋体育大学	19'36"
2位	小泉 夢菜	早稲田大学	
3位	中村 愛花	日本体育大学	

小中学生タイムトライアル

マスターズ・タイムトライアル

ハンドサイクル・タイムトライアル

結果は外苑クリテ過去大会アーカイブでご確認ください
<https://gaiencriterium.tokyo/>

マスターズ・クリテリウム

1位	小川 恵佑	17'27"
2位	高岡 亮寛	
3位	小畑 郁	

ハンドサイクル・ロードレース

1位	奥村 直彦	22'06"
2位	木村 潤平	
3位	島田 一彦	



第13回大会成績 / RESULTS OF THE 13th EVENT 2019年3月10日(日)

2018年度全日本学生ロードレースカップシリーズ最終戦 第13回 明治神宮外苑大学クリテリウム

大学対抗結果 対抗順位

1位	早稲田大学
2位	日本大学
3位	法政大学
4位	中央大学
5位	朝日大学
6位	明治大学

シリーズ戦総合成績(門田杯)

1位	孫崎 大樹	早稲田大学
2位	渡邊 慶太	明治大学
3位	小嶋 健太	日本大学
4位	栗原 悠	日本大学
5位	松村 恭輔	明治大学
6位	床井 亮太	作新学院大学

グループ3A

1位	岡田 俊平	筑波大学	08'58"
2位	田仲 駿太	鹿屋体育大学	
3位	藤原 遼祐	東海大学	

グループ3B

1位	東矢 圭吾	中央大学	08'48"
2位	岸田 剛	鹿屋体育大学	
3位	依田 淳之介	東京大学	

グループ3C

1位	坂野 匠	東京大学	08'53"
2位	山本 耀介	北海道大学	
3位	三浦 隆也	東海大学	

女子

1位	中村 愛花	日本体育大学	19'27"
2位	岡本 二菜	スミタ・エイダイ・パルイズミ・ラビネロ	
3位	EmmaChiltern	メルボルン大学	

小中学生タイムトライアル

マスターズ・タイムトライアル

ハンドサイクル・タイムトライアル

結果は外苑クリテ過去大会アーカイブでご確認ください
<https://gaiencriterium.tokyo/>

マスターズ・クリテリウム

1位	小川 恵佑	17'22"
2位	小畑 郁	
3位	高岡 亮寛	



第14回大会成績 / RESULTS OF THE 14th EVENT 2020年2月23日(日)

2019年度全日本学生ロードレースカップシリーズ最終戦 第14回 明治神宮外苑大学クリテリウム

大学対抗結果 対抗順位

1位	日本体育大学
2位	明治大学
3位	明星大学
4位	日本大学
5位	朝日大学
6位	中央大学

シリーズ戦総合成績(門田杯)

1位	鈴木 浩太	明星大学
2位	風間 翔真	東北学院大学
3位	植益 和行	大阪産業大学
4位	床井 亮太	作新学院大学
5位	篠田 幸希	日本体育大学
6位	安彦 統賀	日本体育大学

女子

1位	中村 愛花	日本体育大学	20'55"
2位	成海 綾香	鹿屋体育大学	
3位	太郎田 水桜	法政大学	

マスターズ・クリテリウム

1位	半澤 雄高	18'26"
2位	菊川 実紀	
3位	松尾 修作	



グループ1(大学対抗)

1位	篠田 幸希	日本体育大学	45'51"
2位	鈴木 浩太	明星大学	
3位	佐藤 健	日本大学	

グループ2A

1位	中村 圭佑	鹿屋体育大学	18'34"
2位	花田 聖誠	Team Eurasia-IRCTIRE	
3位	關根 論	日本体育大学	

グループ2B

1位	大町 健斗	Team Eurasia-IRCTIRE	
2位	平安山 良希	日本体育大学	18'02"
3位	石原 悠希	順天堂大学	

グループ3A

1位	塩島 嵩一朗	明治大学	09'30"
2位	堀 良寛	一橋大学	
3位	川尻 泰生	明星大学	

グループ3B

1位	松本 輝	作新学院大学	09'33"
2位	宮本 秋哉	駒澤大学	
3位	上野 矢電	明治大学	

グループ3C

1位	新垣 慶晃	鹿屋体育大学	09'32"
2位	尾形 昂	朝日大学	
3位	森崎 健臣	作新学院大学	

第15回大会成績 / RESULTS OF THE 15th EVENT 2021年3月7日(日)

2020年度 第22回全日本学生選手権クリテリウム大会 兼 第15回 明治神宮外苑大学クリテリウム

シリーズ戦総合成績(門田杯)

新型コロナウイルスの影響により2020年度のシリーズ戦は本大会を含め4回しか開催できず、参加選手も大きく制限されたため、今期については門田杯の対象者は無しとした。

男子大学生クリテリウム 決勝

1位	川野 碧己	慶應義塾大学	45'44"
2位	山本 哲央	中央大学	
3位	飯屋 和駿	日本大学	
4位	宇佐美 颯基	明治大学	
5位	西原 裕太郎	鹿屋体育大学	
6位	中村 龍吉	中央大学	
7位	床井 亮太	作新学院大学	
8位	平安山 良希	日本体育大学	



女子

1位	岩元 杏奈	日本体育大学	27'40"
2位	成海 綾香	鹿屋体育大学	
3位	石上 夢乃	鹿屋体育大学	

小中学生タイムトライアル

結果は外苑クリテ過去大会アーカイブでご確認ください
<https://gaiencriterium.tokyo/>

第16回大会成績 / RESULTS OF THE 16th EVENT 2022年2月27日(日)

2021年度全日本学生ロードレースカップシリーズ最終戦 第16回 明治神宮外苑大学クリテリウム

大学対抗結果 対抗順位

- 1位 慶應義塾大学
- 2位 日本大学
- 3位 順天堂大学
- 4位 中央大学
- 5位 早稲田大学
- 6位 法政大学

シリーズ戦総合成績(門田杯)

- 1位 中島 渉 立教大学
- 2位 飯屋 和 駿 日本大学
- 3位 加藤 遼 東京工業大学
- 4位 北宅 柊 日本大学
- 5位 篠崎 蒼平 東京大学
- 6位 川野 碧己 慶應義塾大学

女子

- 1位 川口 うらら 日本体育大学 21'36"
- 2位 岩元 杏奈 日本体育大学
- 3位 中島 瞳 川越工業高校

マスターズ・クリテリウム

- 1位 森 栄 晃彦 19'14"
- 2位 石橋 利晃
- 3位 半澤 雄高

グループ1(大学対抗)

- 1位 中村 龍吉 中央大学 48'44"
- 2位 川野 碧己 慶應義塾大学
- 3位 兄島 直樹 日本大学

グループ2A

- 1位 小池 陽斗 明治大学 19'43"
- 2位 新垣 慶晃 鹿屋体育大学
- 3位 黒川 祐次郎 法政大学

グループ2B

- 1位 加藤 遼 東京工業大学 19'33"
- 2位 佐藤 岳 慶應義塾大学
- 3位 吉川 敬介 日本大学

グループ3A

- 1位 高澤 惇弥 成蹊大学 09'44"
- 2位 志田 拓也 東海大学
- 3位 岩田 祥真 大阪工業大学

グループ3B

- 1位 吉田 英生 東京工業大学 09'45"
- 2位 山本 和瑛 日本体育大学
- 3位 永井 笙太 関西大学

グループ3C

- 1位 齋藤 祥樹 東海大学 09'46"
- 2位 内田 崇志 東京工業大学
- 3位 稲田 雄星 愛知大学

小中学生タイムトライアル
マスターズ・タイムトライアル
ハンドサイクル・タイムトライアル

結果は外苑クリテ過去大会アーカイブでご確認ください
<https://gaiencriterium.tokyo/>

第17回大会成績 / RESULTS OF THE 17th EVENT 2023年2月26日(日)

2022年度全日本学生ロードレースカップシリーズ最終戦 第17回 明治神宮外苑大学クリテリウム

大学対抗結果 対抗順位

- 1位 日本体育大学
- 2位 立命館大学
- 3位 朝日大学
- 4位 明治大学
- 5位 中央大学
- 6位 慶應義塾大学
- 7位 日本大学
- 8位 関西大学

シリーズ戦総合成績(門田杯)

- 1位 中島 渉 立教大学
- 2位 篠崎 蒼平 東京大学
- 3位 小泉 響貴 明治大学
- 4位 北宅 柊 日本大学
- 5位 初川 弘浩 中央大学
- 6位 山本 大智 朝日大学
- 7位 西村 行生 慶應義塾大学
- 8位 松井 丈治 立命館大学

グループ1(大学対抗)

- 1位 西村 行生 慶應義塾大学 51'39"
- 2位 小泉 響貴 明治大学
- 3位 北村 翔太 日本体育大学

グループ2A

- 1位 阿見寺 俊哉 東京都市大学 20'31"
- 2位 新井 敬太 日本大学
- 3位 石田 真大 早稲田大学

グループ2B

- 1位 吉川 敬介 日本大学 20'43"
- 2位 重田 倫一郎 作新学院大学
- 3位 片岡 遼真 明治大学

女子

- 1位 阿部 花梨 順天堂大学 21'36"
- 2位 渡部 春雅 明治大学
- 3位 小林 あかり 信州大学

小中学生タイムトライアル(1.5km)

- 中2 毛利 瑞紀 6分09秒17
- 中1 芝山 瑠透 3分02秒16
- 中1 小路 裕紀 2分59秒40
- 小6 末田 晃大 3分12秒95
- 小3 山田 大夢 3分41秒48
- 小2 鎌田 晃士 4分07秒04

マスターズ・タイムトライアル(1.5km)

- 矢野 国康 2分38秒91
- 川島 健人 2分45秒11

2023年度(令和5年度) 全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ

「全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ」とは ROAD RACE CUP SERIES = RCS

年間約10~15戦で全国を転戦し、総合成績を競います。実力別カテゴリに分かれて行われるクリテリウムを主体としており、その成績は海外遠征代表の資格獲得や、インカレ等への出場資格獲得に結びついています。

大会名等	開催日	会場
第1戦 第24回 JICFオープンロードレース	4月16日	静岡県伊豆市 日本サイクルスポーツセンター
第2戦 けいはんなサイクルロードレース	4月23日	京都府木津市
第3戦 第15回 菜の花飯山ラウンドクリテリウム(1日目)	4月29日	長野県飯山市 長峰スポーツ公園 針湖池外周
第3戦 第15回 菜の花飯山ラウンドクリテリウム(2日目)	4月30日	
オープン戦 草津ナイトレース(クラス3のみ)	6月24日	滋賀県草津市烏丸半島周回コース
第4戦 第16回 白馬クリテリウムラウンド(1日目)	7月29日	長野県北安曇野郡白馬村飯森
第4戦 第16回 白馬クリテリウムラウンド(2日目)	7月30日	
第5戦 群馬クリテリウムラウンド	11月11日	群馬県みなかみ町 群馬CSC 6kmコースの一部
第6~10戦 ツールド北海道での当連盟所属選手の重大事故をうけ、開催地関係者と協議のうえレースの実施を中止。		
第11戦 大島サンセットパームライン・個人ロードTTラウンド	11月4日	東京都大島町 大島サンセットパームライン他
第12戦 大島三原山ヒルクライムラウンド	11月5日	東京都大島町 御神火スカイライン他
第13戦 浮城の町行田クリテリウムラウンド	12月17日	埼玉県行田市 行田総合公園
第14戦 埼玉県川島町小見野クリテリウムラウンド	1月28日	埼玉県川島町小見野地区
最終戦 第18回明治神宮外苑大学クリテリウム	3月10日	東京都・明治神宮外苑

RCSポイント上位者成績一覧（第1戦～第14戦まで）

ランク	氏名	大学名	第1戦	第2戦	3-1戦	3-2戦	4-1戦	4-2戦	第5戦	第11戦	第12戦	第13戦	第14戦	ポイント 小計	本大会 最終戦	ポイント 総合計
1	小泉 響貴	明治大学		A02 24	A04 18	A02 24	A06 14	A03 20	A01 30	A04 18	A05 16	A04 18	A01 30	212		
2	松井 丈治	立命館大学	A05 16		A03 20	A04 18	A12 2	A01 30	A12 2	A01 30	A01 30	A03 20	A03 20	188		
3	中島 渉	立教大学		A09 8	A02 24		A01 30	A10 6	A09 8	A02 24	A02 24	A06 14	A02 24	162		
4	高本 亮太	立命館大学			B01 20	A06 14	A02 24	A05 16	A02 24	A03 20	A04 18			136		
5	秋田 圭佑	慶應義塾大学				C01 2	B07 8	B08 7		B01 20	A03 20	A02 24	A07 12	93		
6	至田 恵人	関西大学		A08 10	B21 2	B12 2	B05 11	B02 16				B05 11	B01 20	72		
6	高久 胡太郎	日本体育大学					A07 12	A02 24	A03 20			A05 16		72		

成績表の A○○はクラス1のみまたはクラス1+2の試合での順位、B○○はクラス2のみの試合での順位、C○○はクラス3のみの試合での順位を表します。順位の下は獲得ポイント数です。

RCSポイント配点表

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	完走
クラス1	30	24	20	18	16	14	12	10	8	6	2
クラス2	20	16	13	12	11	9	8	7	5	4	2
クラス3	2	以下昇格者	1		0	0	0	0	0	0	0

本大会のグループ1にはクラス1の配点が、グループ2にはクラス2の配点が適用されます。但し、最終戦明治神宮外苑クリテリウムは通常の2倍の配点となりますので、例えばグループ1の1位には60点が与えられます。

JAPAN INTERCOLLEGIATE CYCLING FEDERATION

日本学生自転車競技連盟 JICF

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号

ジャパンスポーツオリンピックスクエア408

TEL 090-2207-2369

FAX 03-6804-2329

E-mail: jicf@remus.dti.ne.jp

URL: https://jicf.info/

※ 広告の掲載順は大学名のアイウエオ順です。



躍進!! 鹿屋体育大学

BICYCLE RACING TEAM Since 1995
National Institute of Fitness and Sports
NIFS in KANOYA
鹿屋体育大学自転車競技部

詳しくはSNSをチェック!
X Instagram Facebook

※ 広告の掲載順は大学名のアイウエオ順です。



関西大学

体育会自転車部

Kansai University Cycling Team

監督 西村喜代一

主将 藤田黎明

KU
Velo



HP kucrt.net



@KUCYCLINGTEAM



X @KUCRT

第18回 明治神宮外苑大学クリテリウム

今年も慶應

来年も慶應
新戦力求む！

第15回明治神宮外苑大学クリテリウム優勝
第16回明治神宮外苑大学クリテリウム大学対抗優勝
第17回明治神宮外苑大学クリテリウム優勝
慶應義塾体育会自転車競技部

私たち慶應義塾自転車競技部は1902年に創部された大学自転車競技チームです。ロード・トラック競技で、インカレや全日本学生選手権といったトップレベルの大会での入賞を目指しています。皆さんに向けた情報など随時 SNS やホームページで更新中！ 慶應義塾体育会自転車競技部の一員として、大学で競技に打ち込んでみませんか？ 入部に関するご相談など、お気軽に DM へ！

@KEIO_BICYCLE_RACING

祝 第18回明治神宮外苑大学クリテリウム

大会の成功と選手の皆様の活躍をお祈りいたします。

日本大学三軒茶屋キャンパス

皆様のご理解とご協力をいただき、2016年4月の開設から8年目を迎え、本年度から大学院も開設します。

【危機管理学部】

君が世界を強くする

社会を襲う自然災害や大規模事故、犯罪、テロリズム、戦争・紛争、個人や組織の情報流出など、私たちの生活はさまざまな危機に取り囲まれています。多様な危機から人々の生命や生活を守るため、法学的アプローチを中心に災害マネジメント、パブリックセキュリティ、グローバルセキュリティ、情報セキュリティの視点から、新しい学問である「危機管理学」を学びます。

【スポーツ科学部】

君が世界をアツくする

スポーツ科学部ではコーチング学を中核領域として捉え、自然科学的な領域だけでなく医学や社会科学など幅広い領域を含め「競技スポーツ」に関する理論と実践を総合的に学習します。また、国際大会で活躍した元アスリートや指導者、専門的な研究機関に在籍した経験を有する研究者等、スポーツに関する様々な経験を持つ教員が学習をサポートします。

※広告の掲載順は大学名のアイウエオ順です。

インカレ、学生選手権の頂点を目指す体制が整った！

指定強化部 自転車競技部

CYCLINGCLUB



監督 | 山口 英生 HIDEO YAMAGUCHI

慶応義塾大学自転車競技部の主幹を務め、全日本、インカレ、国体に出場経験を持つ。日本学生自転車競技連盟常務理事、日本アマチュア自転車競技連盟常務委員、慶応義塾大学ヘッドコーチを歴任し、インカレチャンピオンを輩出するなどの経験を持つ。

新潟の豊かな大地と経験豊かな指導者のもと
「食」と「スポーツ」の融合で
新たな大学スポーツを創り出す！



新潟県立大学で学ぶ
新潟食料農業大学
新潟県新潟市東区大森 950-8580
TEL: 0254-28-9840

新潟キャンパス
新潟市中央区南万代2-1-1
TEL: 025-212-3301



#福大チャリ部筋通せ！と応援よろしくお願いします！！



福岡大学サイクリング愛好会部員募集中!!
※コーチ不在のため来年度よりjicfは走れません




**立教大学
自転車競技部**

選手・マネージャー
募集中！

詳細やご相談は HP・各種SNSまで！

公式LINE



Instagram



X (Twitter)



<https://stpaulsbicycle.wixsite.com/rikkyobicycleracing>



デモ機の展示を行います



第18回明治神宮外苑大学クリテリウム大会出場校の皆さまへ

本大会の第1回目より大会を応援している弊社は、レース機材の販売でも学生の皆さんを応援しております。パワーメーターのASSIOMA、ヘルメットのKASK、愛三工業レーシングチームが採用したサイクルコンピュータのiGPSPORT、カーボンリムのホイールSCOPE CYCLINGをはじめ、プロフェッショナルライダーも愛用するアイテムの数々を、日本学生自転車競技連盟加盟校の自転車競技部に特別価格で販売しています。選手個人への対応はできませんので、問い合わせや見積もり、注文は各校の自転車競技部でとりまとめてお問合せください。また、本部受付にて配布した資料のなかに特別価格販売の注文書を同封したので、併せてご確認ください。不明な点は弊社ブースのスタッフにお訊ねください。会場内でデモ機の展示を行います。本部テントの並び、弊社のブースにお立ち寄りください。

チューブレスに迫る、 強さとグリップ力を備えた 新生クリンチャータイヤ。

チューブレスのパイオニアがリリースした新生クリンチャータイヤ。

アスピーテの基軸である

「軽く、強く、トラブル無縁」を継承したモデル [RBCC]、

「軽く、速く、レース性能」を追求したモデル [S-LIGHT]。

その [S-LIGHT] に待望のタンサイドが登場！

ASPITE PRO will be your answer.

**NEW
COLOR
"TAN"**

コーナーでタイヤを倒す
ほどグリップ力が向上する
新断面構造とヘリンボーン
パターンを採用

タイヤ全面に40×40TPI
メッシュガードを採用(RBCCのみ)
※サイドカットへの抵抗値40%アップ

新断面構造とスリック
パターンで、なめらかな
巡行走行を実現

クリンチャータイヤ初！
フックレスリム対応

新エトルト規格に準拠

	標準リム幅
25C	19mm
28C	19mm
30C	21mm

NEW COLOR

SUPER GRIP! SUPER LIGHT!

ASPITE PRO S-LIGHT

アスピーテ プロ スーパーライト

参考価格 ブラック ¥7,480(税込)

タンサイド ¥8,250(税込)

SIZE ● WO 700 × 25C / WO 700 × 28C / WO 700 × 30C

SUPER GRIP! SUPER TOUGH!

ASPITE PRO RBCC

アスピーテ プロ アルピーシーシー

参考価格 ¥7,480(税込)

SIZE ● WO 700 × 25C / WO 700 × 28C / WO 700 × 30C

